

海外におけるCNに向けた取組みのまとめ

観点	具体的な施策（※）	ポイント
1. 長期的な計画、ビジョンのもと包括的アクションをおこす	<ul style="list-style-type: none"> 住民参画で作成した総合計画・ビジョン（シアトル、ポートランド） PlaNYC（ニューヨーク） 	<ul style="list-style-type: none"> 都市構造・交通、地区まちづくり、建物、緑化等の各取組みを束ねるものとして総合計画を策定することが大切である。総合計画において環境施策を重点分野の一つと位置 数値目標を設定している都市もある。 計画策定において、住民参画・住民合意の実践、また施策の進捗をモニタリングし、計画をアップデートしていく一連のプロセスも重要
2. 地区単位の取組みから始める	<ul style="list-style-type: none"> エコカルティエ認証制度（グルノーブル等多数） ジャストコミュニティ（シアトルほか、世界各地） 	<ul style="list-style-type: none"> 地区単位の取組みを支援することで、都市全体のあり様を変える取組みもある。 フランスのエコカルティエ認証制度は、環境配慮型地区整備を推進する制度であり、国は地域への技術的支援の提供や、コンクールの実施等を通じて取組を促進している。 シアトルのジャストコミュニティは、環境的・社会的に「正しく」、「再生的」な取組みを展開することを目的とした、地区スケールの持続性評価ツールである。
3. 緑で豊かなまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> スーパーブロック（パリ） 都市緑化計画（PluR パリ） 市民農園・都市農園 	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動による異常気象や温暖化への対策の一つとなりつつあるなかで、海外では都市の緑化について戦略・計画等を策定し、計画的に推進する動きが見られる。 緑化は、都市の気温を下げたり、日陰の形成により、エネルギーコスト削減の向上の効果もある。 都市緑化の双方に寄与する都市農園・市民農園の取組みもある。
4. 建物の省エネ・創エネで地域価値を生む	<ul style="list-style-type: none"> 低断熱賃貸住宅への規制（イギリスほか） 近隣からの住宅のリノベーションプロモーション（オランダ） Circular economy' principles（ロンドン、ワーキング） 	<ul style="list-style-type: none"> 海外では、建物のリノベーションの促進や、建物排出性能基準等の導入等が行われている。リノベーションにおいて地区単位（近隣ベース）の取組みを行うことや都市景観を豊かにするような建物のデザインを採用することや、新たな大規模開発において循環型経済の原則を導入する等、単なる排出削減に留まらない取組みが見られる。
5. 道路を人中心の健やかな空間にする	<ul style="list-style-type: none"> 学校前道路整備プロジェクト（パリ） 駐車場撤廃計画を伴う歩行者空間創設（アンジェ、詳細調査/講義） 自転車ネットワークの構築（アムステルダム、アサイクル（コペンハーゲン）） Complete Streets（シアトル） 	<ul style="list-style-type: none"> 道路空間を人優先の空間に再編することは、道路の安全性の向上（特に子どもや高齢者）、大気汚染の改善に貢献する。またこうした道路空間の再編に伴い、新たな公共空間の創出や緑化を推進することで人々のWell-beingにも繋がっている。 こうした一連の取組みが、交通量の削減によるCNにも貢献する。 海外都市では、道路空間再編の方法として、自転車道の拡充がトレンドとして多くの都市で進められているほか、自動車の垂直規制や歩行者優先/専用道の整備の事例もある。ウォークラブルなエリアの創出や歩行者習慣にも寄与し、健康促進の効果が見込まれる。
6. 成長戦略として循環型の都市をつくる	<ul style="list-style-type: none"> マテリアルパスポート、フロー・ストックハウス、地産地消の推進（オランダ） アフォーダブルな再生可能エネルギーの提供（シアトルほか） 	<ul style="list-style-type: none"> 欧州では、成長戦略として循環型経済の推進とCN促進が一体的に取り組んでいる。オランダの都市は、ビジネスを推進力として、CNと循環型経済に意欲的に取り組んでいる。 再生可能エネルギーを自治体が供給しアフォーダビリティを確保、供給網や必要施設を整備・提供

2. 地区単位の取組みから始める

6. 成長戦略として循環型の都市をつくる

1. 長期的な計画、ビジョンのもと包括的アクションをおこす

3. 緑で豊かなまちをつくる

5. 道路を人中心の健やかな空間にする

4. 建物の省エネ・創エネで地域価値を生む